

動け! 所沢 紡ごう! 絆 笑顔あふれるマチへ

—未来を見つめ、今を動く!—



新年の「ごあいさつ」

所沢市長 藤本 正人



あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、希望に満ちた新春を健やかに迎え、お慶び申し上げます。また、日頃より市政に対し、深いご理解と温かいご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

「動け! 所沢 紡ごう! 絆」『未来を見つめ、今を動く!』を合言葉に市政運営に取り組み、4年目を迎えました。市民の皆様との約束(公約)は、おかげさまで、やっと土の中から芽が出て咲き始めたように感じています。大震災と原発事故を経験した私たちは、今までは少し進路を変え、もっと自然と共生し、もっと支え合いの力を頼みにして行こうと方向を定めました。その象徴が「マチごとエコタウン所沢構想」そして「所沢市地域がつながる元気な自治会等応援条例」や「市民参加を進めるための条例」の制定です。「自然力」「人間力」とも言うべき力を最大限に発揮し、真に豊かな社会を未来の子どもたちに継承します。

自然の力を発揮するため、自然再生エネルギー関連の補助金や緑の保全創出のための費用を大幅に増やし、食品ロス削減の取り組みも始めました。人間力の発揮の場として「(仮称)所沢市総合福祉センター」も建設が始まり、幼稚園、小・中学校では「新たな三学期制」がスタートします。また、給食の親子方式、トイレの洋式化、中学校舎の内装木質化などに取り掛かっています。

これら取り組みの大前提となるのは、マチの活気であり、にぎわいであり、経済的支えであります。塩漬になりそうだった「浄化センター跡地」を(株)KADOKAWAに売却したことでの雇用の創出や、第2市民ギャラリー跡地を病院用地として売却したこと、救急体制がより整備され、人を呼び込み人アップでマチの成長が期待できます。

さて種をまき、芽を出し、花を咲かせるためには、土壌が柔らかくなくてはなりません。組織の枠にとらわれず柔軟に対応すべく(株)西武鉄道と若手市職員による意見交換会や、東京五輪・パラリンピック推進に向けた戸内プロジェクトチームの立ち上げなども行ってきました。さらに「音楽のあるマチづくり」「中心市街地活力UP↑隊」「農のあるマチづくり」などのマチの活気にぎわい、魅力づくりに取り組んでいるところです。

所沢市は11月に市制施行65周年を迎えます。27年度からは第5次所沢市総合計画(後期基本計画)がスタートします。「動け! 所沢 紡ごう! 絆」を合言葉に、大震災のときに誰もが感じたあの思いを決して忘れず、「人」と人のあり方、「人」と自然のあり方、関係性をもう一度紡ぎ直していくこと!! 思うより、批評をするより、自ら動く実践者となること!! そして「実践者を大切にする所沢、日本でない!!」の信念で、1,000有余の市職員とともに市民の新たな幸せのため、力を尽くしてまいります。

結びに、新しい年が皆様にとって健康で幸せな年でありますよう祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

「(仮称)所沢市総合福祉センター」(所沢市こどもと福祉の未来館)の建設を開始

本施設は、地域福祉センター、こども支援センター、社会福祉協議会などの機能を併せ持ち、誰もが地域で自立した生活が送れる社会を目指す地域福祉センターの中心的な役割を担う拠点として、現在建設を進めています。

所在地 泉町1861番地の1(旧新所沢コミュニティセンター別館跡地)

◆事業の概要

「地域福祉センター」では、子どもから高齢者、障害者などを問わず、さまざまな課題を抱える世帯の相談に応じる福祉の総合相談窓口を設置し、必要な福祉サービスの利用につなげ、自立に向けた支援を行います。その他、地域福祉を支えるボランティア活動の充実を図るため、人材交流などを通じて活動支援を行います。また、子どもから高齢者まで、さまざまな世代の方が交流できるように「世代間交流広場」を設置します。

それとともに、所沢市社会福祉協議会が入るため、今まで以上に連携して地域福祉の推進を図ります。

「こども支援センター」では、子育て支援と発達支援の2つの部門が連携して事業を実施します。子育て支援部門では、つどいの広場を設置し、親子同士の交流事業などの実施と市内の地域子育て支援センターの核として、地域における子育て支援事業の充実を進めていきます。発達支援部門では、発達に心配のある、または発達障害のある子どもに対して、子育て支援部門や関係機関が連携した早期の相談や専門性のある支援を行うとともに、巡回相談なども実施し地域支援にも取り組めます。

※「地域福祉」とは、誰もが安心して、それぞれの地域において暮らせるよう、地域住民や社会福祉の関係者などがお互いに協力して、地域社会の福祉課題の解決に取り組む考え方を指します。

所沢市こどもと福祉の未来館のイメージ



マチごとエコタウン所沢構想の推進

この構想は、エネルギー・資源に過度に依存してきたライフスタイルを見直し、①エネルギーの自立を目指した自然エネルギーの普及や省エネの促進、②みどりの保全と創出、③「もったいないの心」を大切に、ごみを削減する取り組み、の3つの柱からなります。

◆エネルギー

構想の先駆けとして、北野に設置した1メガワットのメガソーラー(ことごソーラー北野)は、平成26年3月から発電を開始し、現在、予想を超える発電量となっています。また、民間の力を活用し、市有施設の屋上を貸して、太陽光発電設備を設置する「屋根貸し事業」を小・中学校13校で実施しました。

また、スマートエネルギー推進補助金を創設し、太陽光発電設備、太陽熱利用システムや低炭素建築物、電気自動車、蓄電池などを導入した市民や事業者の方に補助金を交付しています。

さらに、エコカーの普及促進を図るため、市民体育館に電気自動車などの充電器を設置し、27年1月から利用を開始します。

◆みどり

「みどりの基本計画」に基づき、みどりを保全・創出するため里山保全地域などの指定を進めると共に、市民との協働で行う、みどりのパートナー制度による里山の保全管理を進めています。また、緑化ガイドラインを作成し、緑化を推進してきた取り組みなどが認められ、第34回「緑の都市賞」で、国土交通大臣賞を受賞(本号12頁参照)しました。

◆資源循環

その日に出すごみの種類やごみの分け方などをお知らせする、ごみ分別アプリ「わけてココ」をスマートフォン向けに配信(市環境総務課 ☎29998-9133)

浄化センター跡地に(株)KADOKAWAが進出

平成24年に廃止した所沢浄化センター跡地(東所沢和田3丁目31番地3及び11)を企業誘致として(株)KADOKAWAに約33億円で売却しました。土地を取得した同社は、29年の夏に、印刷・製本から出荷までの機能を統合した一大拠点となる事業所を操業する予定で、事業所には、図書館や美術館が併設される他、敷地面積の50%を超える緑化施設が設けられ、文化や環境といった多面的な教育の場としても市民に親しまれる施設になります。

また、900人以上の従業員の雇用が予定されており、新たな人の流れが生まれ、東所沢地域の更なる発展の契機となることが期待できます。

なお、この土地の売却収入は、「未来への投資」の観点から4つの基金(施設整備基金、緑の基金、マチごとエコタウン推進基金、地域産業活性化基金)に積み立てます。一般会計予算は民生費(児童・障害者・高齢者福祉など)に掛かる費用でその半分を使ってしまえば将来的な投資に使う予算を捻出することが非常に困難な状況下に基金とすることで、施設整備や緑化推進、マチごとエコタウン所沢構想、さらなる産業活性化に活用できるようにしました。

産業振興課 ☎29998-9157



「所沢発 みどりと笑顔にあふれる自立都市」に向けて後期基本計画(平成27年度～30年度)を推進

平成23年度からの8年間を計画期間とする第5次所沢市総合計画では、基本構想に将来都市像「所沢発 みどりと笑顔にあふれる自立都市」を掲げ、計画的なまちづくりを進めています。

この基本構想を実現するための施策の目標や基本方針などをまとめた前期基本計画が26年度をもって終了しました。

27年4月からは、前期基本計画に引き続き、まちづくりに必要な理念や方向性、将来都市像の実現に向けた施策などを示した、後期基本計画がスタートします。

後期基本計画では、総合的に取り組む重点課題に、「絆を紡ぐまちづくり」「子どもを大切にす

また、給食はこれまでと同じ日数を確保します。

②季節感と家庭学習

長期休業日前に通知表を配布して、学習の定着度を分かりやすく示して自発的な学習に生かします。季節感に合わせて、学習や諸活動の区切りをはっきりさせ、一人一人の課題を明確にして、学校での学習と家庭学習を連動させ、相乗効果を図れるようにします。

③確かな学力と自立する力

この新たな三学期制の実施により、子どもたちに「確かな学力を身に付けさせ、自立する力の育成を目指します。また、早寝・早起き・朝ごはん」の基本的生活習慣の確立や、家庭での読書・学習の習慣化など、学校と家庭の連携により主体的な「学び」を支援します。

学校教育課 ☎29998-9238

また、給食はこれまでと同じ日数を確保します。

②季節感と家庭学習

長期休業日前に通知表を配布して、学習の定着度を分かりやすく示して自発的な学習に生かします。季節感に合わせて、学習や諸活動の区切りをはっきりさせ、一人一人の課題を明確にして、学校での学習と家庭学習を連動させ、相乗効果を図れるようにします。

③確かな学力と自立する力

この新たな三学期制の実施により、子どもたちに「確かな学力を身に付けさせ、自立する力の育成を目指します。また、早寝・早起き・朝ごはん」の基本的生活習慣の確立や、家庭での読書・学習の習慣化など、学校と家庭の連携により主体的な「学び」を支援します。

学校教育課 ☎29998-9238

「地域のごとは、地域で決めてつくっていく、汗をかいていく」という基本に立ち返る「所沢市地域がながる元気な自治会等応援条例」を平成26年6月に制定しました。

自治会・町内会の活動の重要性について周知を図る他、住宅関連事業者自治連合会と連携した加入と参加の促進や、自治会・町内会の活動への支援を行います。みんながまちづくりに参加し、一緒に声を掛け合って、つながり合う、お年寄りも子どもたちもみんなの笑顔あふれるまちづくりを進めます。

コミュニティ推進課 ☎29998-9088

所沢駅東口に「ギヤラー施設」と町内会集会所が建設

老朽化により取り壊す第2市民ギャラリー跡地を医療法人社団和風会(所沢中央病院)に、病院用地として売却しました。同用地に新病院が建設され次第、現在所沢中央病院の建て替え工事が始まっています。

和風会は、建て替える病院内にギヤラー施設を寄附し、市へ寄附することになっています。

また町内会集会所施設も併せて設置され、地域貢献のため地元町内会へ無償譲渡されます。

管財課 ☎29998-9053

所沢中央病院のイメージ

